

## 第 1 期総合戦略検証シート

No.	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI) 項目	単位	開始年度 現況値	R2年度 目標値	R2年度 実績値	事業の評価の内容
1	いきいきパーク（仮称）の整備	「三木町が好き」と感じる 住民の割合	%	80.3	90	事業中止	-
		いきいきパーク（仮称）来場者 数	人/年	-	250,000	事業中止	
2	妊娠・出産から子育てまでの “切れ目ない”支援	産後ケア事業開始	%	-	事業開始	事業 開始済	出産後、母親の育児不安の軽減や体調回復を助ける目的もあり、祖父母等の支援の少ない家庭にとって非常に重要な事業である。
3	健康寿命の延伸	男性の健康寿命 （日常生活動作が自立している 期間の平均）	年	78.09	79.0以上	県調査 未実施	健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）の延伸を期待できる各種取組の実施。
		女性の健康寿命 （日常生活動作が自立している 期間の平均）	年	82.47	83.0以上	県調査 未実施	
4	全住民を対象とした生活習慣病予 防対策の実施を検討する組織づく り	小児生活習慣病予防対策委員会 設置	-	-	委員会 設置	設置済	現状の血液検査を維持するほか、過去30年の検査結果をデータ化し、三木町の保健指導等に役立てていく。
		倫理委員会設置	-	-	委員会 設置	設置済	学会等を通して広く社会に本町の取組を公表し、生活習慣病予防等の取り組みにつなげる。
5	シティプロモーションサイト 【KIT*MIKI】の運営	移住PR特設サイトの構築	-	-	サイト 構築	構築済	子育て支援とリンクさせた手厚い助成制度で、移住者から喜ばれており、移住実績も上がっている。
		移住PRサイトアクセス件数	件/年	-	12,000	48,940	
6	移住・定住促進事業	移住相談件数	件/年	30	60	41	移住検討者に対し、KIT*MIKIをはじめ、様々なメディアを活用して情報発信をすると共に、オンラインを活用した相談も実施している。

## 第 1 期総合戦略検証シート

No.	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI) 項目	単位	開始年度 現況値	R2年度 目標値	R2年度 実績値	事業の評価の内容
7	ふるさと住民票	ふるさと住民票登録者	人	-	1,000	814	町とふるさと住民の継続的な”つながり”から将来的に町の発展に結びくものである。
8	移住・定住促進事業 (移住フェアへの参加)	移住フェアでの相談件数	件/年	-	50	0	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、都心部から地方への移住需要は拡大しているが、移住フェア等の開催も困難な状況である。オンライン相談会に参加したが相談者はなかった。
9	ふるさと住民票 (おもしろ体験ツアー)	町の魅力体験ツアー参加者数	人/年	-	15	事業 未実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントが開催できていない。
10	町内大学生が選ぶ名店ガイド(仮) 発行	屋間人口	人	25,019	25,000 以上	算定中	国勢調査 (H22 25,019人⇒ H27 24,845人) (R2については、R4.7月公表予定)
11	空き家バンク制度	空き家バンク登録件数 (期間内累計)	件	2	20	17 (計73人)	空き家バンクと移住支援制度をリンクさせた制度であり、空き家解消と人口増をめざすための重要な施策である。
12	三木へき一まい助成金制度	空き家バンク物件入居者 (移住者数)	人/年	5	10	19 (計57人)	
13	農業指導者の紹介	香川県農業士による支援	件/年	-	10	0	就農もしくは貸し農園や自分の畑での野菜作りなどを実施しようとする方に香川県農業士等を紹介する。
14	移住者対象農業体験	農業体験者	人/年	-	20	事業中止	-
15	・農業次世代人材投資事業 ・新規就農者サポート事業	新規就農者	人/年	-	10	9	農業者の高齢化や担い手不足が進む中、将来にわたり本町における地域農業を支えるため次代を担う新規就農者を確保し育成していく必要がある。
16	まちづくり協議会構築	まちづくり協議会の設置	地区	-	13	1	自治会の活性化や広域的な自治組織の結成は持続可能なコミュニティを作っていくうえで必要不可欠な取組みである。平成29年度は、田中地区においてまちづくり協議会を設立した。そして、親睦や交流を図ること及び課題解決のために協議を重ね、朝市や会報誌の発行などを実施している。  町内の住民組織の在り方が異なることから、今後のまちづくり協議会の在り方について検討していく。
		自分がどこの自治会なのかが明示できる比率	%	-	80	調査 未実施	
		過去1年間に地域活動、行事等に1回以上参加した20歳以上の住民の割合	%	90	90以上	調査 未実施	

## 第 1 期総合戦略検証シート

No.	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI) 項目	単位	開始年度 現況値	R2年度 目標値	R2年度 実績値	事業の評価の内容
17	百眼百考会議	まちづくりに興味を持った人の割合	%	-	100	事業中止	-
18	広報誌発行	広報誌記事掲載件数	件/月	-	1以上	0.58	読みやすく分かりやすい平易な文章の作成を心がけ、町全体としての施策や取り組みを正確な情報発信に努める。
19	三木町魅力発信力向上 (町民レポーター)	住民記者数 (町民レポーター数)	人	-	10	11	町の魅力を町内外に発信するべく、コンテンツの充実、タイムリーな情報の更新など、今後も積極的かつ効果的な情報発信に努めていく。
20	サードプレイス整備	サードプレイスとして活動されている場	か所	-	5	3	「SUNカフェ」をはじめとしたサードプレイスの整備の推進に努める。
21	介護予防サポーター養成講座	介護予防サポート登録者数	人	172	220	182	周知方法を工夫する等、より多くの方に受講していただけるように努めていく。
22	傾聴ボランティア養成講座	傾聴ボランティア登録者数	人	25	50	26	周知方法を工夫する等、より多くの方に受講していただけるように努めていく。
23	一人暮らし高齢者等見守りボランティア	見守りボランティア登録者数	人	39	60	33	ボランティアが勉強会で学んだことを利用者に反映できるよう事業を継続していきたい。
24	小学生高齢者宅訪問 (小学生老人福祉施設等訪問)	小学生高齢者宅訪問者数 (小学生老人福祉施設等訪問)	人/年	-	30	事業未実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設側の受入れが困難であったため。
		高齢者の外出頻度週2回以上の割合	%	50	55	調査未実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外出制限などにより、各種取組ができなかったため。
25	防災意識(力)向上事業	防災訓練参加人数	人/年	-	200	682	南海トラフ地震等大規模災害に備え、避難所運営マニュアルの策定や、地区防災計画の策定など、それぞれの避難所や地域に即した計画を整備していく必要がある。
		自主防災組織のカバー率	%	96.6	100	97.8	
26	民間住宅耐震対策支援事業	住宅耐震診断件数	件	22	30	58	耐震診断、耐震改修に関する補助制度があることを多くの住民に知ってもらい、積極的に活用してもらう。

## 第 1 期総合戦略検証シート

No.	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI) 項目	単位	開始年度 現況値	R2年度 目標値	R2年度 実績値	事業の評価の内容
27	特産物育成支援事業	いちご農家数	件	56	80	51	さめき讚フルーツ「さめきひめ」の知名度の向上に寄与するだけでなく、三木町地域において更なる産地化が図られる。
28	グリーン・ツーリズム推進 (耕作放棄地利活用)	提供される耕作放棄地件数	件	-	5	0	グリーン・ツーリズムと観光事業を連携し、広域的に情報発信していく。
29	三木らしいカフェ	三木らしいカフェ年間集客数	人	-	3,000	事業中止	-
30	地域ブランド戦略	「希少糖の里みき」の認知度	%	-	90	調査 未実施	平成28年10月3日、国立大学法人香川大学とレアシュガースウィートをふるさと納税記念品とした寄附金の一部を財源として、地方創生や地域振興などの分野において相互に連携・協力を図るための協定を締結。
31	トップスポーツチーム等誘致	トップスポーツチーム等の合宿 の誘致件数	件	-	1以上	1	継続してトップスポーツチーム誘致に取り組んでいく場合、計画的な施設整備や修繕等が必要不可欠である。
32	遊び場づくり事業（遊び場（公園）マップの作成）	子育て世帯を対象とした遊び場 （公園）マップの認知度	%	-	50	マップ 作成済	町の子育て支援情報がよりわかりやすく情報発信されるよう、今後も積極的かつ効果的な情報発信に努める。
33	放課後英語活動推進	放課後児童クラブ定員稼働率	%	-	100	100	利用人数の動向も踏まえ、教室数、人員配置を適切に行う必要がある。
34	イクメン推進（養成）事業	男性の育児参加時間	分/日	45	50	40	両親学級に参加する夫婦は一部に限られており、両親学級だけで、家事育児参加を呼びかけるには、十分な効果が期待できない。今後両親学級の内容や運営方法を見直し、家族や社会で子育てを行うことを考える機会としたい。他の子育て支援事業とも連携し情報発信していくことが必要である。

## 第 1 期総合戦略検証シート

No.	具体的施策	重要業績評価指標 (KPI) 項目	単位	開始年度 現況値	R2年度 目標値	R2年度 実績値	事業の評価の内容
35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業</li> <li>・乳幼児一時預かりサービス</li> <li>・病児・病後児保育サービス</li> <li>・医療費助成</li> <li>・放課後児童健全育成事業</li> <li>・保育料第2子半額・第3子無料</li> <li>・学校給食費補助事業</li> <li>・子育て支援券・支援相談</li> <li>・子育てホームヘルプサービス</li> </ul>	引き続き定住したい子育て世帯の割合	%	-	80	調査未実施	<p>【母子保健事業】 産婦の育児不安の解消や健康保持を図る上で非常に重要な事業である。産後母子が抱える問題は多岐で複雑化しているため、適切な対応には従事者の資質の向上が求められる。</p> <p>【乳幼児一時預かりサービス】 この事業を実施することにより、子育て家庭の支援を行い、安心して子育てができる環境を提供していく。</p> <p>【病児・病後児保育サービス】 共働き家庭や核家族にとっては必要であり、利用料の半分を町が負担することで利用者も増加しており、受け入れ施設の数や定員等について考えていかなければならない。</p> <p>【医療費助成】 事業を通して三木町の子育て世代の増加に寄与していると考えられる。</p>
		0歳～15歳の転入者	人/年	132	150	117 (R1)	<p>【放課後児童健全育成事業】 利用人数の動向も踏まえ、教室数、人員配置を適切に行う必要がある。</p> <p>【保育料第2子半額・第3子無料】 多子世帯への経済的負担軽減に伴い保育所入所児童数が増加しており、受入態勢や保育料の見直し、保育士確保に向けた保育運営を実施していかなければならない。</p> <p>【学校給食費補助事業】 今後も本事業を継続していくことで、さらに本町の子育て支援を推進していく。</p>
		保育所待機児童数	人	-	0	0	<p>【子育て支援券・支援相談】 町独自の子育て支援施策として、引き続き実施していく事で町事業所の活性化へとつなげる。</p> <p>【子育てホームヘルプサービス】 妊娠中や産後の体調が不安定な時期に、家事支援サービスの体制が整備されていることは、健康保持を図る上で非常に重要である。</p> <p>(参考) 三木町：子育て世帯アンケート調査 (H28.3実施) 引き続き三木町に住みたい(どちらかといえば住みたい) 94.5%</p> <p>大東建託：アンケート調査 (R3.11発表) 【香川県に住む成人を対象に居住満足度調査】 香川県の住み続けたい街ランキング 三木町：1位 【四国エリア居住の20歳以上の男女を対象に居住満足度調査】 四国の住み続けたい街ランキング 三木町：2位</p>